

平成21年度第4回津市入札等監視委員会の会議結果報告

会議名 平成21年度第4回津市入札等監視委員会
開催日時 平成22年2月3日(水)午後2時00分から3時30分まで
開催場所 津市庁舎4階庁議室
出席した者の氏名
月岡 存 委員長 (三重大学名誉教授)
伊藤 庄吉 委員 (行政書士)
滝澤 多佳子 委員 (税理士)
西川 源誌 委員 (弁護士)
土方 良明 委員 (公認会計士)
事務局 副市長、総務部長、総務部次長、調達契約課長ほか2人
内容 1 入札・契約に関する報告について
(1) 入札及び契約手続の運用状況
(2) 指名停止措置等の運用状況
2 入札等監視業務について
(1) 入札・契約抽出事案の審議
公開又は非公開
公開
傍聴者の数 0人
担当 総務部調達契約課工事契約担当
電話番号 059-229-3122

・議事の内容 下記のとおり

1 入札・契約に関する報告について

(1) 入札及び契約手続の運用状況

Q 最低制限価格の見直し後において、応札者全者が最低制限価格を下回り不調となった案件があるとのことですが、応札者の見積価格と最低制限価格が乖離していたということは、最低制限価格の設定価格そのものが誤っていたとも考えられるのではないのでしょうか？

A 最低制限価格は、いわば行政が設定する品質保持のためのラインで、業者のラインと不一致があることはあり得ると考えます。乖離が大きな場合は、最低制限価格の設定が誤っていたことも考えられますが、今回のような応札者の多くが最低制限価格を下回る結果となった事例は、最低制限価格の見直し直後に多く見受けられ、現在は減少しているところをみると、御指摘の事例は、従前の算式による応札の結果ではないかと推測します。

(2) 指名停止措置等の運用状況

Q 特になし

2 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

・最低制限価格の見直しについて

Q 算式を基本とし増減調整できるものとなっていますが、調整は算式全

体で行っているのか、各工事費において行っているのか、どちらでしょうか？

A 技術上の難易その他の条件を考慮して調整を行っていますが、その調整の内容については、適正な競争を阻害するおそれがあることから、調整を行っているかどうかも含めて非公表としています。

Q 調整の内容や方法が不透明なため、応札者の疑念を呼ぶものと考えます。公正性を担保する措置や手段を考慮すべきではないでしょうか？

A 調整の方法については、今後の入札を類推し適正な競争を阻害するおそれがあることから公表しませんが、調整は、津市全体として、技術上の難易その他の条件を考慮して、一定の基準に基づき公正に行われています。

Q その基準は、例えば1年間を通して等、一定の期間を一定の基準で行っているのか、それとも随時に変更をしているのか、どちらでしょうか？

A 10月15日以降の公告分以降から最低制限価格の見直しを行ったばかりで、現在のところ基準については変更していませんが、「当該年度においては基準は一定」といった取り決めはなく、今後の落札状況や社会状況を鑑み、必要に応じて基準や調整の方法を変更する可能性があります。

Q 調整の内容が非公表だと、入札参加者から見れば事実上ブラックボックスになってしまうこととなります。当然のことながら調整は適正に行われていることと思いますが、必要があれば会議内容を非公表とした上で本委員会において、調整の方法や内容等について検討することも可能だと思います。

A 今後、入札結果の分析を行い、場合によっては当委員会において検討をお願いしたいと思います。

Q 確認の意味も込めまして、今回の最低制限価格の見直しに至った経緯と算式の決定や調整方法等がどうやって決定されたのか、を教えてください。

A 最低制限価格の見直し前におきましては、土木、ほ装工事、土木設計コンサルタント等においては、応札者のほとんどが同額で、ほぼ100%がくじ引きによる決定となり、本来の目的である積算能力の確認ができなくなっていた状況を踏まえ、本委員会における貴重なご意見・ご助言及び議会からの指摘等を参考に、技術担当部署、契約担当部署等で検討、協議を行い、難易度等、設計図書や現場を見ていただいたの応札が行われるべく、今回の最低制限価格の見直しを行いました。

Q 調整率や調整の方法を事前非公表とすることは理解できますが、事後においては公表してもいいのではないのでしょうか。ただし、事後公表により、算出方法が類推でき、今後の入札に影響があるのであれば、非公表もやむを得ないのではないかと考えます。

透明性を確保するために公表とすべきなのか、同額による入札を抑止し、公正性を確保するために非公表とするか、は非常に難しい問題で、

今後も検討を重ねていくべきものと思います。

A 例えば、宮崎県では最低制限価格付近への応札の集中やくじの多発といった入札状況の緩和を図るため、ランダム(無作為)加算値を用いて最低制限価格の算出を行っています。

本市としても、市役所全体で検討の結果、くじの多発を抑制するべく最低制限価格の見直しを行いましたが、増減調整においてはランダムなものではなく、技術上の難易その他の条件を考慮したものとしました。

先程も御説明したところですが、算出は公正、適正に行われており、恣意的なものは一切ありませんので、今、算出方法を公表し、以前のようなくじ引きが多発する状態となることは望むところではありません。

今後、予定価格の事後公表とする場合においては、増減調整を廃止し、算式のみの方に戻すことも考えられますが、現在のところ予定価格を事前公表していますので、調整の内容については非公表としたいと思います。

Q 最低制限価格の算出においては、一部の人が利益を享受するシステムが最もいけない。決定権が一極集中することなく、市役所内で公正性を担保するシステムが確立しているのであれば、今後の入札に影響を及ぼす場合は非公表とすることもやむを得ないと思います。

Q 最低制限価格の見直し後、間もないこともあり、今後の入札結果をもう少し見ていきたいと思います。

(1) 平成21年度南道新補第3号

高茶屋小森町久居線道路改良工事(その1)

<事後審査型条件付一般競争入札(工事)>

Q 本件は、応札27者中26者が最低制限価格と同額の入札であり、最低制限価格の見直し前の極端な例ということでしょうか?

A その通りです。

Q 予定価格の事前公表は総額だけでしょうか?

A 総額だけの公表であり、各工事費の内訳までは公表していません。

Q 各工事費の内訳はわからないのに、26者が最低制限価格と一致していたということですか?

A 最低制限価格の算式の公表に加えて、業者が情報公開にて蓄積した過去のデータと予定価格の事前公表により類推した結果ではないか、と推測します。

Q 本件は予定価格が約4,800万円で、技術者要件は2級土木施工管理技士(土木)又は同等以上となっていますが、いくらから、1級の資格を求めているのでしょうか?

A 市の基準におきまして、6,000万円以上の場合、1級若しくは監理技術者の資格要件を求めています。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(2) 平成21年度北ス振補第1号

津球場公園内野球場防球ネット整備工事

<事後審査型条件付一般競争入札(工事)>

Q 本件は、最低制限価格の見直し後の結果ということですが、応札者7者のうち3者が最低制限価格未滿で失格となっていますので、最低制限価格の算出において何らかの増減調整が行われたものと推測されます。本件における、調整の内容は難易度等どういった点によるものなのでしょうか？回答できる範囲でお答えください。

A 増減調整における技術上の難易その他条件には、高度な技術力を要する工事や工期の長さ等様々な要因がありますが、本件については、工事施工場所周辺に他の工事等も同時進行しており、工程調整や交通状況等の条件を考慮し調整を行いました。

Q 入札結果をみると、参加者のほとんどがくじ引きとなっていた状況より良いと思いますが、今後も調整の内容の非公表を続けると、圧力や事件が懸念されます。

理想としては、透明性を確保するために公表も行いつつ、最低制限価格に張り付けてくじ引きが多発しないものが最も良いが、社会情勢や建設業界の置かれている環境が変化中、最善の方法と呼べるものを選択することは、とても難しいと感じます。

Q 非公表とすることにより最低制限価格の決定権や算出過程が不明なことは、圧力や働き掛けを防止する意味では有効だと思います。

しかしながら、非公表とすることは、最低制限価格の決定が複数の部署や者により、公正に行われていることが大前提であり、これらの算出過程がシステムとして確立していることが重要であると思います。

A 現在、最低制限価格の算出は、一極集中を行わないように権限を分散し、積み上げにおいてはシステム化した中で適正に行っています。

国においては、予定価格を事後公表としているところであり、同様に予定価格を事後公表とする自治体も増えて来ているところです。

元来、予定価格を事前公表としていた主たる理由は、予定価格を事前に探ろうとする動きの抑止効果や不正行為防止なのですが、近年においては、その理屈は通らなくなってきています。

このことを踏まえ、本市においても今回の最低制限価格の見直しを行うにあたり、予定価格を事後公表とすることについての検討も同時に行いましたが、今回は増減調整による最低制限価格の見直しを行い、今後その結果をみながら、予定価格の事後公表についても検討してまいりたいと考えています。

Q おそらく応札者の中には、不透明感に不満を抱いている方がたくさんみえると思います。最低制限価格の決定が、全庁的に公正に行われており、恣意的な要素が介入することがないことをもっとアナウンスしてはどうか？

A 最低制限価格の見直し後、業者の方からは、「予定価格の事後公表の実施」、「くじ引きが多発するが以前の算式のみの方に戻してほしい」、「総合評価方式の拡大」、「調整の内容が非公表の方がむしろ公平」等、様々な御意見をいただいているところです。

委員のおっしゃるように、現行制度の周知に努めていくとともに、今

後の入札結果や応札状況により、引き続き本委員会での検討をお願いしたいと思います。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(3) 平成21年度南河維補第1 - 1号

(仮称)前田川排水機場詳細設計業務委託

<事後審査型条件付一般競争入札(委託)>

Q 予定価格と全く同額の応札者もみられますが、こういったことは他の案件でもあるのでしょうか?

A 全入札者が最低制限価格未満で失格し、不調となった案件を受けてのことなのか、応札者の意図は解りかねますが、最低制限価格の見直し後にはこういった事例も見受けられます。

Q 公告において提出期限は平成21年11月27日必着、郵送先は郵便事業(株)津支店留となっていますが、締め切り後に入札書が届くこともあるのでしょうか?

A 差出人、受取人それぞれが、入札書到着日の把握ができるように郵送方法を書留に限定していますため、期限を超えて届く場合は受付をしていません。ただし、普通郵便等の指定外の郵送方法での応札事例は見受けられ、この場合は無効入札として取り扱っています。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

(4) 平成21年度環お補第2 - 1号

津市クリーンセンターおたか焼却設備(1号・2号炉)修繕

<随意契約>

Q 1回目の見積額が141,000,000円、2回目の見積額が140,000,000円で決定と1,000,000円も安くなっていますが、何回まで見積の提出依頼は行えるのでしょうか?

A 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約の場合、応札者は1者となるので、適正な競争性確保のため予定価格は事前公表していません。そこで、見積を徴取した結果、予定価格の範囲内であれば決定となります。

1回目見積徴取の結果、見積額が予定価格を超えていて、見積額と予定価格の価格差が小さい場合は2回目、3回目と見積書の提出を依頼しますが、予定価格との価格差が大きい場合は、再度の見積徴取は行わず、当方の仕様内容や条件の再検討等を行うこととなります。

* 本件については適正に処理されているものと認める。

事後審査型条件付一般競争入札

| | | | | |
|------------|---|-------------------------------------|----------------------------|------|
| 公告日 | 平成21年9月7日 | 工事担当課 | 津南工事事務所 | |
| 工事名 | 平成21年度南道新補第3号 高茶屋小森町久居線道路改良工事(その1) | | | |
| 工事場所 | 津市 高茶屋小森町 | 地内 | | |
| 工事概要 | 側溝工(L型500) 271m 側溝工(U型300) 322m 側溝工(自由勾配300~600) 150m アスファルト舗装工 2,633m ² | | | |
| 工期 | 契約締結の日から 平成22年2月26日 まで | | | |
| 発注業種 | 土木一式 | | | |
| 参加資格に関する事項 | 建設業許可 | 特定・一般 | | |
| | 所在地要件 | 市内本店 | | |
| | 格付要件 | A1・A2 | | |
| | 地域・格付要件 | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | 同種工事実績要件 | | | |
| | 技術者要件 | 主任(監理)技術者 | 2級土木施工管理技士(土木)又は同等以上(専任配置) | |
| | | 現場代理人 | 常駐配置(主任技術者と兼務可) | |
| その他要件 | | | | |
| 設計図書の閲覧 | 閲覧期間 | 本公告の日から 平成21年9月18日 まで | | |
| | 閲覧場所 | 調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所 | | |
| 設計図書の購入 | 購入期間 | 本公告の日から 平成21年9月18日 まで | | |
| | 販売店 | (有)オグラ 津市垂水2870-20 059-228-9811 | | |
| 入札方法等 | 入札方法 | 郵便入札(一般書留・簡易書留に限る) | | |
| | 提出期限 | 平成21年9月18日 必着 | | |
| | 郵送先 | 〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛 | | |
| 開札日時及び場所 | 平成21年9月25日 午前11時45分 津市役所(本庁舎)7階 入札室 | | | |
| 予定価格 | 48,536,000 円 (税抜き) | | | |
| 最低制限価格 | 有 | | | |
| 入札保証金 | 免除 | | | |
| 契約保証金 | 契約金額の100分の10以上 | | | |
| 前金払 | 有 | | | |
| 部分払 | 無 | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ・配置技術者について、3ヶ月以上の雇用関係が継続していること。 | | | |

| | | |
|---------|------------|---|
| 予 定 価 格 | 48,536,000 | 円 |
| 落 札 価 格 | 40,553,000 | 円 |
| 最低制限価格 | 40,553,000 | 円 |
| 落 札 率 | 83.55 | % |

すべて税抜き

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

| 順位 | 入 札 者 | 入札金額 | 備考 |
|----|-------------|------------|---------------|
| 1 | (有)小林組 | 40,552,000 | 失格(最低制限価格未滿) |
| 2 | (株)ロッシュ | 40,553,000 | 落札決定(くじ引きによる) |
| 3 | (株)藤田組 | 40,553,000 | |
| 4 | (有)松村土木 | 40,553,000 | |
| 5 | 藪建設(株) | 40,553,000 | |
| 6 | (株)大栄建設 | 40,553,000 | |
| 7 | 北嶋建設(株) | 40,553,000 | |
| 8 | (株)カンキョ - | 40,553,000 | |
| 9 | (株)星山組 | 40,553,000 | |
| 10 | 田中土木(株) | 40,553,000 | |
| 11 | (株)ジェイエイ津安芸 | 40,553,000 | |
| 12 | 河芸建設(株) | 40,553,000 | |
| 13 | 安濃建設(株) | 40,553,000 | |
| 14 | (株)河合組 | 40,553,000 | |
| 15 | (株)林組 | 40,553,000 | |
| 16 | (株)西川組 | 40,553,000 | |
| 17 | 勢和建設(株) | 40,553,000 | |
| 18 | (株)広山建設 | 40,553,000 | |
| 19 | 本堂建設(有) | 40,553,000 | |
| 20 | 杉谷建設(株) | 40,553,000 | |
| 21 | 別所工業(株) | 40,553,000 | |
| 22 | 大和建設(株) | 40,553,000 | |
| 23 | (有)大森組 | 40,553,000 | |
| 24 | (株)佐南組 | 40,553,000 | |
| 25 | (株)マエダ組 | 40,553,000 | |
| 26 | (有)大村建設 | 40,553,000 | |
| 27 | (株)藤久建設 | 40,553,000 | |

| | | | | |
|-------------|---|---|---------|------|
| 公 告 日 | 平成21年11月9日 | 工 事 担 当 課 | 津北工事事務所 | |
| 工 事 名 | 平成21年度北ス振補第1号 津球場公園内野球場防球ネット整備工事 | | | |
| 工 事 場 所 | 津市 本町 | 地内 | | |
| 工 事 概 要 | コンクリートポール建柱工(18-24-17.5) 32本 コンクリートポール建柱工(13-19-10.0) 14本 ネット張工 4,529m ² | | | |
| 工 期 | 契約締結の日から 平成22年3月19日 まで | | | |
| 発注業種 | とび・土工・コンクリート | | | |
| 参加資格に関する事項 | 建設業許可 | 特定 | | |
| | 所在地要件 | 市内本店 | | |
| | 格付要件 | A1 | | |
| | 地域・格付要件 | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | | 【ブロック】 | 【地区】 | 【格付】 |
| | 同種工事実績要件 | 過去10年間の官公庁元請又は下請実績で以下のとおり とび・土工・コンクリート工事等で発注されたフェンス設置工事等 (土木一式工事などに含まれるものを除く) | | |
| 技術者要件 | 主任(監理)技術者 | 同業種の監理技術者(専任配置) | | |
| | 現場代理人 | 常駐配置(監理技術者と兼務可) | | |
| その他要件 | | | | |
| 設計図書の閲覧 | 閲覧期間 | 本公告の日から 平成21年11月27日 まで | | |
| | 閲覧場所 | 調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所 | | |
| 設計図書の購入 | 購入期間 | 本公告の日から 平成21年11月27日 まで | | |
| | 販売店 | (有)オグラ 津市垂水2870-20 059-228-9811 | | |
| 設計図書等に関する質問 | 提出期限 | 平成21年11月17日 午後5時 まで | | |
| | 回答日 | 平成21年11月24日 ホームページにて回答 | | |
| | 提出先 | 調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) F A X 059-229-3333 | | |
| 入札方法等 | 入札方法 | 郵便入札(一般書留・簡易書留に限る) | | |
| | 提出期限 | 平成21年11月27日 必着 | | |
| | 郵送先 | 〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛 | | |
| 開札日時及び場所 | 平成21年12月2日 午後1時00分 津市役所(本庁舎)7階 入札室 | | | |
| 予定価格 | 58,098,000 円 (税抜き) | | | |
| 最低制限価格 | 有 | | | |
| 入札保証金 | 免除 | | | |
| 契約保証金 | 契約金額の100分の10以上 | | | |
| 前金払 | 有 | | | |
| 部分払 | 無 | | | |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 ・配置技術者について、3ヶ月以上の雇用関係が継続していること。 | | | |

予 定 価 格 58,098,000 円
 落 札 価 格 48,288,000 円
 最低制限価格 48,165,000 円
 すべて税抜き
 落 札 率 83.11 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

| 順位 | 入 札 者 | 入札金額 | 備考 |
|----|-------------------------|------------|--------------|
| 1 | (株)ロッシュ | 48,008,000 | 失格(最低制限価格未滿) |
| 2 | (株)大栄建設 | 48,088,000 | 失格(最低制限価格未滿) |
| 3 | (株)ジェイエイ津安芸 | 48,115,000 | 失格(最低制限価格未滿) |
| 4 | ジェイエフイ - 三重テックサ - ビス(株) | 48,288,000 | 落札決定 |
| 5 | 安濃建設(株) | 48,480,000 | |
| 6 | 杉田土木(株) | 48,570,000 | |
| 7 | | | |
| 8 | | | |
| 9 | | | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |

| | | | | |
|----------------------------|--|---|-------------------|--|
| 公 告 日 | 平成21年11月9日 | 業 務 担 当 課 | 津南工事事務所 | |
| 業 務 名 | 平成21年度南河維補第1 - 1号 (仮称)前田川排水機場詳細設計業務委託 | | | |
| 業 務 場 所 | 津市 木造町 | 地内 | | |
| 業 務 概 要 | 排水機場詳細設計 一式 揚排水ポンプ設備 一式 水門詳細設計 一式 遠方監視操作制御設備設計 一式 | | | |
| 期 間 | 契約締結の日から 平成22年3月25日 まで | | | |
| 発 注 業 種 | 土木関係コンサルタント | | | |
| 参 加 資 格 に 関 する 事 項 | 登録要件 | 業 種 | 土木関係コンサルタント | |
| | | 部 門 | 河川、砂防及び海岸・海洋 | |
| | | 建設コンサルタント登録規程(昭和52年建設省告示第717号)第2条第1項の規定による登録を受けていること | | |
| | 所在地要件 | 市内本店又は市内支店等 | | |
| | 当該部門 における 営業収入 金額要件 | 市内本店 | 営業収入金額を有すること | |
| | | 市内支店等 | 営業収入金額が5億円以上であること | |
| | 同種業務 実績要件 | | | |
| 技術者要件 | 管理技術者 | 同業種(同部門)に係る技術士、技術管理者又はRCCMのいずれかの者 (本市発注業務における専任配置) | | |
| | 照査技術者 | 同業種(同部門)に係る技術士、技術管理者又はRCCMのいずれかの者 | | |
| その他要件 | | | | |
| 設 計 図 書 の 閲 覧 | 閲 覧 期 間 | 本公告の日から 平成21年11月27日 まで | | |
| | 閲 覧 場 所 | 調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所 | | |
| 設 計 図 書 の 購 入 | 購 入 期 間 | 本公告の日から 平成21年11月27日 まで | | |
| | 販 売 店 | (有)オグラ 津市垂水2870-20 059-228-9811 | | |
| 設 計 図 書 等 に 関 する 質 問 | 提 出 期 限 | 平成21年11月17日 午後5時 まで | | |
| | 回 答 日 | 平成21年11月24日 ホームページにて回答 | | |
| | 提 出 先 | 調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) F A X 059-229-3333 | | |
| 入 札 方 法 等 | 入 札 方 法 | 郵便入札(一般書留・簡易書留に限る) | | |
| | 提 出 期 限 | 平成21年11月27日 必着 | | |
| | 郵 送 先 | 〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛 | | |
| 開 札 日 時 及 び 場 所 | 平成21年12月2日 午前9時15分 津市役所(本庁舎)7階 入札室 | | | |
| 予 定 価 格 | 46,884,000 円 (税抜き) | | | |
| 最 低 制 限 価 格 | 有 | | | |
| 入 札 保 証 金 | 免除 | | | |
| 契 約 保 証 金 | 契約金額の100分の10以上 | | | |
| 前 金 払 | 有 | | | |
| 部 分 払 | 無 | | | |
| そ の 他 | ・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注業務とは調達契約課又は水道局発注業務で、担当課執行分を除く。 | | | |

予 定 価 格 46,884,000 円
 落 札 価 格 31,650,000 円
 最低制限価格 31,502,000 円
 すべて税抜き
 落 札 率 67.51 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

| 順位 | 入 札 者 | 入札金額 | 備考 |
|----|------------------------|------------|------|
| 1 | (株)志登茂コンサルタント | 31,650,000 | 落札決定 |
| 2 | (株)交通構造コンサルタンツ 津営業所 | 31,737,000 | |
| 3 | 南海カツマ(株) | 32,151,000 | |
| 4 | (株)三重新成コンサルタント | 32,385,000 | |
| 5 | (株)若鈴 | 32,476,000 | |
| 6 | 三井共同建設コンサルタント(株) 三重営業所 | 32,477,000 | |
| 7 | (株)ニュージェック 三重事務所 | 38,400,000 | |
| 8 | (株)東海測量設計 | 46,850,000 | |
| 9 | 杉山コンサルタンツ(株) | 46,884,000 | |
| 10 | | | |
| 11 | | | |
| 12 | | | |
| 13 | | | |
| 14 | | | |
| 15 | | | |
| 16 | | | |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 19 | | | |
| 20 | | | |

| | |
|--------|--|
| 件名 | 平成21年度環お補第2 - 1号 津市クリーンセンターおおたか焼却設備(1号・2号炉)修繕 |
| 見積者 | クボタ環境サービス(株)中部支社 |
| 業種 | 清掃施設 |
| 施工場所 | 森町 地内 |
| 工期 | 平成22年3月19日 |
| 工事概要 | 1号炉・2号炉修繕 耐火物修繕 一式 電気計装設備修繕 一式 灰出し設備修繕 一式 |
| 契約方法 | 随意契約 |
| 見積日時 | 平成21年11月4日 午後2時15分 |
| 随意契約理由 | 当修繕は、ガス冷却塔耐火キャストの打ち替え、白煙防止用送風機用電動機の更新、誘引送風機用電動機の修繕、白煙防止・誘引送風機制御盤インバーターの更新、灰出し設備の更新を行うもので、特殊な機器、材料及び専門知識を要し、当施設のごみ処理計画に合わせて効率的な施工が求められ、プラントメーカーが国の構造基準に基づき、独自に研究開発した焼却炉となっていることから、当該施設に精通している当該業者と地方自治法施行令第167条の2第1項第2号による随意契約。 |

予定価格 140,283,000 円

落札価格 140,000,000 円

最低制限価格 - 円

すべて税抜き

比率 99.80 %

下記見積金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

| 者数 | 見積者 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 備考 |
|----|------------------|-------------|-------------|-----|----|
| 1 | クボタ環境サービス(株)中部支社 | 141,000,000 | 140,000,000 | | 決定 |